

Lecturer  
Shigekaki Saegusa

混迷する世界情勢のいまだから、  
知っておきたい



## 演題

# 「西洋音楽はなぜ グローバル・スタンダードに なったのか？」

なぜ、モーツァルトやベートーヴェンの音楽は世界中にファンがいるのでしょうか？  
クラシック音楽はもともと、ヨーロッパのごく一部の人たちが作り出した  
たいへん特殊な音楽であるといえます。  
インド人も、アフリカ人も、中国人も、日本人も、  
それを愛好するには理由があります。  
西洋音楽の成り立ちを知ることは、  
すなわち西洋の人たちのものの考え方を知ることでもあるのです。  
今回の講演では、いくつかのキーワードから、  
西洋音楽が“グローバル・スタンダード”になってゆく歴史をお話しし、  
それをとおして、西洋文化がなぜここまで  
世界に広がっていったのかを解き明かします。

## 講師

さえぐさ しげあき  
**三枝 成彰** 作曲家

日本交響楽振興財団理事 日本現代音楽協会理事  
日本作編曲家協会副会長 日本モーツァルト協会理事長 東京音楽大学客員教授

## プロフィール

1942年生まれ。東京芸術大学卒業、同大学院修了。代表作にオペラ「忠臣蔵」、オラトリオ「ヤマトタケル」、映画「優駿」「機動戦士ガンダム～逆襲のシャア～」、NHK大河ドラマ「太平記」「花の乱」。1997年には、構想に10年の「忠臣蔵」を初演。なお同作品のCDとピアノは、日本人のオペラとしては初めて、世界27ヵ国で発売されている。著書に「驚天動地のクラシック」ほか。2004年、プッチーニのオペラ「蝶々夫人」を下敷きにしたオペラ「Jr. バタフライ」を世界初演。同作は2006年、イタリア・プッチーニ音楽祭でも再演された。この再演は同音楽祭における初の外国人作品の上演であり、プッチーニ以外の作品としても初の上演ともなった。2007年、紫綬褒章受章。2008年、日本人初となるプッチーニ国際賞を受賞。2011年、渡辺晋賞受賞。2013年、新作オペラ「KAMIKAZE 一神風一」を世界初演。2014年、オペラ「Jr. バタフライ」イタリア語版をプッチーニ音楽祭で世界初演。同作品の日本初演を、イタリア人歌手の出演・全編イタリア語により、2016年1月に富山と東京で行った。